

入港するクルーズ船

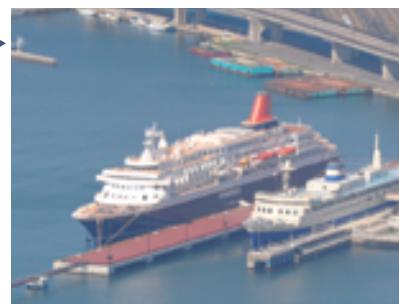
これまで若松ふ頭岸壁に入港したクルーズ船の中で最大の船舶は「飛鳥II」(50,444GT)で、岸壁の完全供用後は「ダイヤモンド・プリンセス」(115,906GT)クラスまで入港が可能となります。

令和元年(2019年)度は若松ふ頭だけで、日本船5回、外国船13回の入港がありました。令和2~3年度は新型コロナウイルスの世界的な流行を受け、日本船1回の入港にとどまりましたが、令和4年(2022年)度以降は、コロナ禍以前と同じように日本船の入港が再開され、政府の行う水際対策の緩和等に伴い、今後、外国船の入港も期待されるところです。



◀飛鳥II
(50,444GT)

※若松ふ頭の最大船舶
(受入実績)



にっぽん丸▶
(22,472GT)



◀ぱしふいっく
びいなす
(26,594GT)

若松ふ頭岸壁について



北海道開発局提供

岸壁延長: 360m (桟橋部 250m / ドルフィン部 110m)

岸壁水深: -10m※

対象船舶: 120,000GT※

※令和5年以降完全供用予定

アクセス



若松ふ頭→JR函館駅 徒歩約 3分

若松ふ頭→函館朝市 徒歩約 2分

若松ふ頭→赤レンガ倉庫群 徒歩約 10分

お問合せ

函館市 港湾空港部 港湾空港振興課

函館市東雲町4番13号

電話 0138-21-3493

メール port-dev@city.hakodate.Hokkaido.jp

函館クルーズターミナル

SINCE 2022



函館クルーズターミナルについて

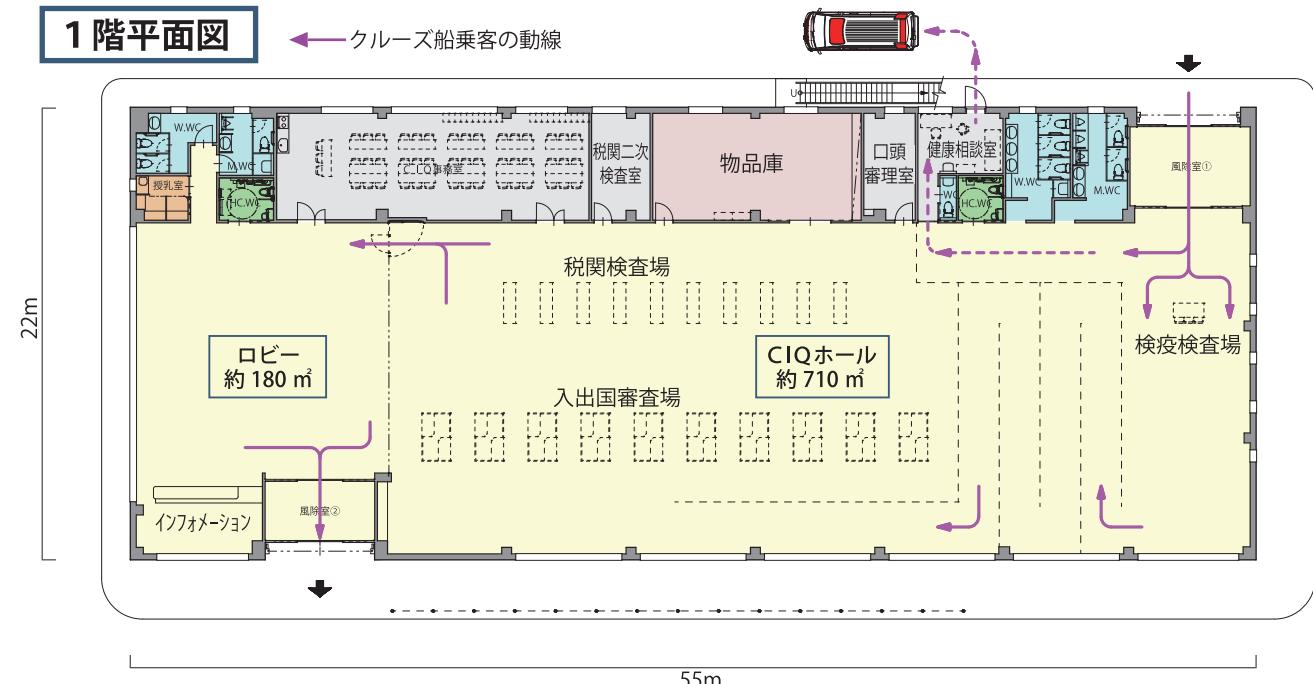
若松ふ頭岸壁はJR函館駅に隣接し、半径1.5km圏内に函館朝市やベイエリアなど主要観光地が点在する好立地にあります。ここにバス駐車場やタクシープールを完備したクルーズ専用のターミナルを建設することで、交流人口の拡大と、国際観光都市・函館の海の玄関口として、交流や観光の拠点となることを目指します。

概要

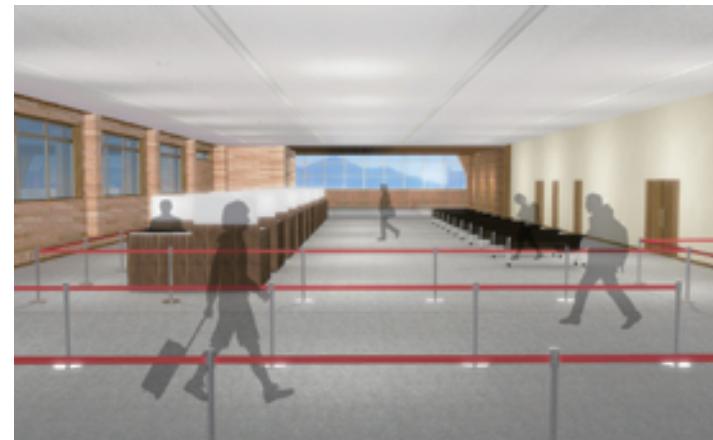
- 住所：函館市若松町12番19号
- 構造：鉄骨造
- 階数：地上1階建て
- 敷地面積：4,820.76 m²
- 延床面積：1,234.00 m²



1階平面図



◀建物は、船のデザインを取り入れた、港町・函館の雰囲気を漂わせるデザインとなっています。外壁に波をイメージした塗装を施しているほか、ロビー（待合スペース）は函館山を大パノラマで見渡せるよう、ガラス張りになっています。



▲内装に道南スギを使っているほか、ベイエリアと近いことから赤レンガ風のデザインも取り入れています。



▲多目的トイレや授乳室を完備し、英語の案内表示も行います。



◀建物内部はオープンフロアで柔軟にレイアウトの変更ができます。これにより外国船の入港に伴うCIQ(税関・入出国審査・検疫)の手続きを屋内で行うことができるほか、待合スペースや観光案内デスクも完備していることから、通年でのクルーズ船の受入れが可能となります。